

定例記者会見

令和7年2月10日（月）13時30分

- 1 市政の動向
- 2 令和7年度の取り組み
- 3 令和7年度の主な動き（政策カレンダー）
- 4 第3次総合計画 前期基本計画（案）
- 5 第3次総合計画 第1期実施計画（案）
- 6 中期財政運営指針（令和7年改定）（案）
- 7 主な議案のポイント
- 8 令和6年度 補正予算のポイント
- 9 令和7年度 当初予算のポイント
- 10 少子化対策・子育て支援戦略実行方針（案）
- 11 産業人材確保・移住定住戦略実行計画（令和7年改定）（案）
- 12 蘭牟田池環境保全グリーンインフラアクションプラン（案）
- 13 スマートデジタル計画（案）
- 14 薩摩川内スマイルアクション50（案）



(1) 市社会体育功労者等表彰式

11月26日、令和6年度市社会体育功労者等表彰式を執り行いました。本市では、体育・スポーツの振興に永年貢献し、市民の健康づくりと競技普及のため活躍されている個人・団体を表彰しています。

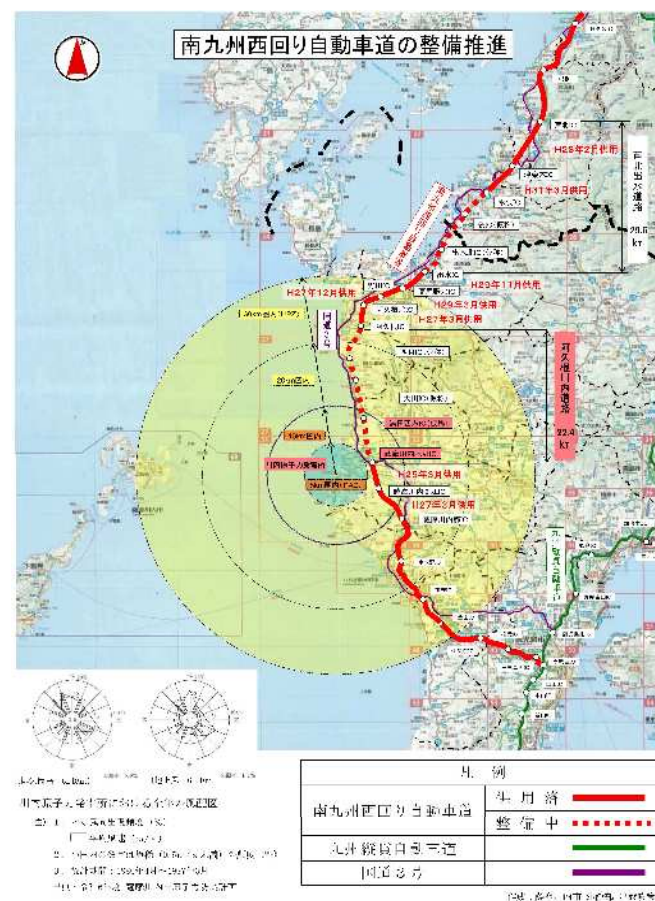
今回、社会体育功労者13名、社会体育優良団体2団体、優秀スポーツ選手13名、優秀スポーツ団体1団体、特別表彰団体1団体が受賞されました。



(2) 原子力防災対策の充実強化などの要望

12月8日、浅尾慶一郎環境大臣・内閣府特命担当大臣（原子力防災）が、本庁を訪問され、田中市長、下園市議会議長と面談されました。

その席において、田中市長と下園市議会議長は、川内原子力発電所に係る避難経路の整備、避難計画及び防災体制の実効性向上のための継続的な見直しなど、原子力防災対策の充実強化などについて、要望を行いました。



(3) 薩摩川内市JR貨物列車脱線事故（危機管理）連絡調整会議の設置

12月12日に鹿児島本線川内駅構内で発生したJR貨物列車脱線事故に伴い、同日、薩摩川内市JR貨物列車脱線事故（危機管理）連絡調整会議を設置し、市民生活および産業への影響、事故調査、復旧状況の情報収集体制を整え、危機管理体制に移行しました。

翌13日に市長が現地を訪れ、川内駅駅長から現状の説明を受けるとともに、早急な原因究明と復旧を要請しました。17日には JR九州鹿児島支社長から作業状況の報告を受け、市長から「事故原因の究明、現場の復旧、旅客・貨物の運行再開」の3点を要望しました。

12月31日の運行が再開されるまでの間、計5回の会議を開催し、12月30日に情報収集体制、1月6日には情報収集体制を解除しました。



(4) 川内原子力発電所の安全な運転管理及び原子力総合防災訓練の対応等に係る要望

12月18日、田中市長と下園市議会議長が、九州電力株式会社に対し、川内原子力発電所の安全な運転管理及び原子力総合防災訓練の対応などについて、要望を行いました。

発電所の安全性向上への取組、使用済核燃料処理など核燃料サイクルの早期実現に向けた取組、地域住民への情報公開と丁寧な説明を要望し、併せて国主催の原子力総合防災訓練における実効性の高い対応も要望しました。



(5) 市文化功労者等表彰式

12月19日、令和6年市文化功労者等表彰式を執り行いました。
本市では、芸術・文化の振興、発展に永年貢献された個人・団体を表彰しています。
今回、文化功労者個人2名、文化功労団体1団体が受賞されました。



(6) 二十歳のつどい

1月12日、SSプラザせんだいで令和7年二十歳のつどいを執り行いました。

今回の二十歳のつどいでは、11人の実行委員会のメンバーを中心にパンフレットや思い出映像の制作など、長期にわたり準備を進めていただき、出席された636人の二十歳の皆さんの笑顔あふれる式典となりました。



(7) 薩摩國広域輸出促進協議会 香港バイヤー招へい・産地視察商談会

1月14日から16日にかけて、薩摩國広域輸出促進協議会（阿久根市・出水市・薩摩川内市・いちき串木野市）において輸出品の海外への宣伝、販路拡大などを図るため、本市にとって初のバイヤー招へい・産地視察商談会を開催しました。

香港向けの販路拡大や海外ビジネス展開を検討する管内事業者21社を対象として、香港から輸入卸売業者とレストランシェフを招へいし、視察相談を開催しました。



(8) 南九州西回り自動車道、川内港等の整備促進に向けた要望

1月22日、自由民主党幹事長の森山裕衆議院事務所を訪問し、南九州西回り自動車道阿久根川内道路（薩摩川内水引インター～（仮称）湯田西方インター間）の「（仮称）湯田トンネル」の着工、重要港湾川内港唐浜埠頭の整備促進、川内宮之城道路の高規格道路としての早期実現に向けた要望を行いました。



(9) 令和6年度特別交付税の要望

1月23日、令和6年度の特別交付税について、総務省の冨樫博之総務副大臣、原邦彰総務審議官等に対して、本市の財政需要に応じた配分額の確保を要望しました。

原子力発電所の防災対策や離島振興など本市の特別な財政需要を説明し、要望活動には、外務副大臣・宮路拓馬衆議院議員にご同行いただきました。



(10) 丸山ニコニコの森づくり市民植樹祭

1月26日、樋脇町塔之原で、薩摩川内市誕生20周年を記念し、「丸山ニコニコ☺の森づくり」市民植樹祭を開催しました。

入来緑の少年団をはじめ、樋脇地域のコミュニティ協議会など多くの皆さんと花や香りなどを楽しむ樹木240本の植樹を行いました。



2 令和7年度取り組み

■ 政策別の主な事業

◇政策1【コミュニティ・都市経営】

共生と多様性で輝くまち

- ①【拡充】 市民活動支援補助金（スマイル連携コース、スマイル育成コース新設）
- ②【新規】 ダイバーシティ社会形成推進事業
- ③【新規】 サーキュラー都市ブランディングプロジェクト
- ④【新規】 デジタル郵便システム導入事業

◇政策3【保健福祉】健やかに暮らせるまち

- ①【新規】 （仮称）上甕島診療所整備事業
- ②【拡充】 子ども医療費給付事業
- ③【拡充】 不妊・不育治療費助成事業
- ④【新規】 带状疱疹ワクチン定期接種事業

◇政策5【産業・シティセールス】

活力と賑わいを生み出すまち

- ①【新規】 就農者育成拠点施設研修事業
- ②【新規】 林業担い手確保対策事業
- ③【拡充】 観光誘客チャレンジイベント支援事業
- ④【新規】 川内港航路開設に向けた調査事業

◇ゼロ予算事業（主なもの）

- ①【新規】 地域経済循環創造事業（ローカル10,000プロジェクト）
- ②【新規】 地域活性化起業人事業
- ③【新規】 移動販売調査事業
- ④【新規】 ウォークابل推進事業
- ⑤【新規】 ふるさと納税動画配信事業
- ⑥【新規】 ふるさと空き家見守りサービス
- ⑦【新規】 特認校制度事業

◇政策2【市民安全・消防】安全・安心なまち

- ①【新規】 蘭牟田池ラムサール条約登録20周年記念事業
- ②【新規】 カーボンニュートラルセミナー事業
- ③【新規】 避難情報システム導入事業
- ④【新規】 消防団活動支援アプリ導入事業

◇政策4【教育】次世代につなぐ教育のまち

- ①【新規】 中央公民館キッズスペース整備事業
- ②【新規】 薩摩川内・英語学研修事業
- ③【拡充】 こどもの日フェスタ事業
- ④【拡充】 学びの多様化支援事業

◇政策6【建設・水道】社会を支える快適なまち

- ①【新規】 一般道路整備事業
(川内港背後地北側道路整備)
- ②【新規】 向田公園遊具施設整備事業
- ③【拡充】 空家利活用促進事業
- ④【拡充】 危険廃屋解体撤去促進事業

3 令和7年度の主な動き（政策カレンダー）



<令和7年3月>

- 「結 Line こしき」就航
- （仮称）天大橋修繕代行事業完了引渡し式

<令和7年4月>

- 就農者育成拠点施設開所
- 子ども医療費窓口負担ゼロ開始
- 医療MaaS運用開始
- 北薩3消防本部指令センター運用開始
- 甕ミュージアム開館

<令和7年6月>

- 日本観光学会全国大会

<令和7年7月>

- 涼みスポットの開設
- 薩摩川内・英語学研修事業（～8月）
- こどもの木育推進事業（～3月）

<令和7年10月>

- パートナーシップ宣誓制度の創設
- 甕島国定公園10周年記念事業
- 国際交流センター開設30年・国際交流協会設立20周年記念イベント

<令和7年11月>

- 蘭牟田池ラムサール条約登録20周年記念事業

<その他>

- こけら落としイベント（スポーツ大会を計画）
 - ※ 川内川天辰地区河川敷に引提事業により創出される新たな河川空間
- 川内港航路開設に向けた調査着手
- 可愛地区コミュニティセンター供用開始
 - ※ スマイルルーム、消防団詰所移転

4 第3次総合計画 前期基本計画（案）

◇今後10年間の市政の羅針盤となる、「薩摩川内2034ビジョン（第3次薩摩川内市総合計画）」を策定します。（令和7年3月策定）

基本構想

R6.8議決

1 計画の構成と期間

基本構想（10年）・基本計画（5年）・実施計画（3年）による構成



2 基本構想

【理念】

SDGs・カーボンニュートラルの達成
デジタル社会構築

【キーワード】

「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）

「持続可能な社会・環境・経済」（sustainability）

▶ 本市の10年後（2034年）の姿を設定

●未来のまちの姿

人が繋がり 人が輝く

安らぎと賑わいのまち 薩摩川内

前期基本計画（案）

1 政策体系図

2 重点戦略プラン

（4つのチャレンジ戦略・15プロジェクト）

▶ 部局を横断して重点的・戦略的に取り組む
「重点戦略プラン」の設定

3 政策ビジョン

（6政策・14政策分類・58施策）

▶ 組織の目標と連動した施策体系の設定

4 ゾーニングビジョン

▶ 人口減少が進行する中、住み慣れた地域に住み続けるための「ゾーニングビジョン」の設定

・市域をゾーニング

2圏域、6エリア、13地域、48地区

・各地区コミュニティ協議会が策定した第5期地区
振興計画の内容掲載

5 第3次総合計画 第1期実施計画（案）

◇令和7年度から令和9年度に実施する事業を示した「第3次薩摩川内市総合計画 第1期実施計画」を策定します。（令和7年3月予算成立にあわせて策定）

1 計画の構成と期間

第3次薩摩川内市総合計画実施計画は、第3次薩摩川内市総合計画の基本構想及び基本計画に掲げた政策や施策に基づき、向こう3年間で取り組む事業を示したものである。

社会経済情勢や住民ニーズの変化に臨機応変に対応するため、毎年度改訂を行う計画調整（ローリング）を行う。

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
各期の期間	第1期									
		第2期								
			第3期							
				第4期						
					第5期					
						第6期				
							第7期			
								第8期		
									第9期	
										第10期

2 対象事業

- (1) 単年度1,000万円以上の普通建設事業
- (2) 単年度1,000万円以上の公有財産購入
- (3) 国・県事業の負担金事業
- (4) 一般会計から特別会計に対する繰出・出資
(ただし、投資的な経費に限る。)

3 事業件数

年度	R7	R8	R9	全体 (R7~9)
事業件数	116 (37)	85 (20)	73 (14)	132 (44)

※ () は、事業件数のうち、新規事業の件数

4 主な事業

No.	事業名	事業終了 (予定)
1	長浜地区コミュニティセンター新築工事	R8
2	防災行政無線システム更新事業	R14
3	(仮称) 上甕島診療所整備事業	R9
4	トイレ洋式化事業 (小学校)	R9
5	トイレ洋式化事業 (中学校)	R9
6	特別教室空調設置事業 (小学校)	R9
7	特別教室空調設置事業 (中学校)	R9
8	直轄港湾改修事業 (川内港)	R9
9	港湾県営事業負担金事業 (川内港 (唐浜ふ頭整備関係))	R11
10	一般道路整備事業 (高城産業用地関連)	R12
11	川内港背後地北側道路整備事業	R9

6 中期財政運営指針(令和7年改定)(案)

◇第3次総合計画前期基本計画(令和7年度～令和11年度)に合わせ、健全で持続可能な財政運営を確立するため、中期財政運営指針を改定します。

1 これまでの取組

平成16年11月 財政健全化計画・中長期財政運営指針策定
平成24年11月 財政運営プログラム策定
令和4年2月 中期財政運営指針策定(現行)

2 財政運営の状況

中期財政運営指針での取組方針に基づき、毎年度財政推計を行い、翌年度の予算規模の設定と翌年度以降の財政指標が適正となるように努めている。

しかし、円安の影響等によるエネルギー・原材料価格の高騰に加え、金利の上昇など、本市を取り巻く状況は一層厳しさを増している。

3 今後の取組

今後も、健全で持続可能な財政運営を確立し、将来にわたって市民サービスを安定的に提供していくため、今後の財政運営の指針となる中期的な視点に立った指標や目標値を設定する必要がある。

また、毎年度、前年度決算を反映した財政推計を行い、翌年度の予算規模を設定し、実施計画の3カ年の財源フレームを設定するなど、財政推計により今後の運営状況を注視します。

4 財政運営における方向性

第3次総合計画前期基本計画の最終年度を終期とする財政指標の目標値を、中期財政運営指針として設定し、健全で持続可能な財政運営に努めます。

○財政指標の改定

項 目	目 標 値	
	改定前	改定後
	令和8年度決算	令和11年度決算
財政調整基金残高	88億円以上	70億円以上
減債基金残高		10億円以上
実質公債費比率	7.0%以内	7.0%以下
将来負担比率	7.0%以内	— (0.0%以下)
市債残高 (普通会計)	327億円以内	320億円以下

○財政運営の基本的な考え方(新規設定)

➤ 財源の確保

市税等の徴収率の向上、債権管理、未利用資産の売却等のほか、広告収入やふるさと納税等のあらゆる自主財源の確保に努めます。

➤ 経費の抑制、基金管理、市債管理

事務事業費の見直し、公共施設管理経費の抑制、適正な定員管理に努めます。基金・市債の適正な管理(活用)に努めます。

7 主な議案のポイント

議 案 合計 65件

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 一般議案 | 33件 |
| 2 | 令和6年度補正予算関係議案 | |
| | (1) 第10回補正 | 11件 |
| | (2) 第11回補正 | 8件 |
| 3 | 令和7年度当初予算関係議案 | 13件 |

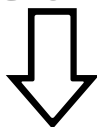
議案第13号

薩摩川内市少子化対策・子育て支援基本条例の制定について

社会全体として少子化対策・子育て支援に取り組むため、少子化対策・子育て支援に関し、基本理念を定め、及び市、事業者、市民等の責務を明らかにするとともに、家庭や子育てに夢を持ち、かつ、喜びを実感しながら安心して子どもを産み、育てることができるとともに、子どもが心身ともに健やかに成長することができるよう環境の整備を図り、もって豊かで活力のある持続可能な社会の形成に寄与するため、制定しようとするもの

<概要>

- 市、事業者、地域住民など多様な主体の相互の連携の下、結婚、妊娠、出産、育児などの各段階に応じて切れ目なく支援を行う



- 本市の未来を担う子どもが、それぞれの家庭や地域において健やかに育まれ、心豊かに成長するとともに、子どもも大人も共に笑顔で明るく暮らすことができるまちの実現を目指す

議案第14号

薩摩川内市未来のまち創生整備基金条例の制定について

本市の地域振興及び地域住民の福祉の向上を図るために実施する公共施設等の整備に要する経費の財源に充てるため、薩摩川内市未来のまち創生整備基金を設置しようとするもの

<概要>

- 川内原子力発電所の運転延長に伴い、県が策定する地域振興計画に基づき、国から県に対して交付される25億円のうち、12億4,100万円が令和7年度から交付期間内において県から本市に交付されます。
- 県からの交付金は、「未来のまち創生整備基金」に毎年度積み立て、翌年度以降の事業に活用します。

※ 令和12年度までに子育て支援や道路整備などに活用予定

8 令和6年度 第10回補正予算のポイント



○一般会計

- ・補正額 △2億9,585万5千円
- ・補正後の予算額

627億3,024万3千円

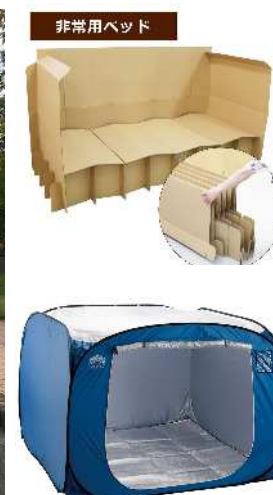
(前年度同期比 1.9%増)

(1) 避難所生活環境改善事業【新規】

災害発生時に備え、避難所生活環境の向上を図るため、災害備蓄品等を購入整備します。

<災害備蓄品の内容>

- | | |
|------------|------|
| ○ 自走式トイレカー | 1台 |
| ○ 間仕切りテント | 300式 |
| ○ 段ボールベッド | 800台 |



<事業費> 5,763万8千円

事項名：災害予防応急対策費（担当課：防災安全課）

9 令和7年度 当初予算のポイント



一般会計

過去最大

5 9 1 億 2 千万円

前年度比 +15億6千万円 (+2.7%)

特別会計

9 会計

2 6 0 億円

前年度比 +1億5千万円
(+0.6%)

公営

企業会計

3 会計

5 9 億 4 千万円

前年度比 +2億5千万円
(+4.4%)

全会計総額

9 1 0 億 6 千万円

前年度比 +19億6千万円(+2.2%)

(1) 子ども・子育て

- ア 子ども医療費給付事業【拡充】** 4億5,645万円（予算概要：P64）
18歳までの子どもの医療費の窓口負担をゼロにします
- イ 赤ちゃんの駅設置促進事業【新規】** 400万円（予算概要：P56）
民間施設を対象に、授乳室やおむつ交換台の設置に要する費用の一部を助成します
- ウ 不妊・不育治療費助成事業【拡充】** 1,632万円（予算概要：P65）
不妊・不育治療に対する助成を自己負担額の1/2から2/3に拡充します
- エ 医療相談アプリ導入事業【新規】** 305万円（予算概要：P65）
子育て世帯が24時間365日医師に相談できる「医療相談アプリ いつでもドクター」を導入します
- オ 学校給食費補助事業【継続】** 1億2,742万円（予算概要：P133）
物価高騰に伴う食材費上昇分を引き続き助成します

【令和7年度当初予算のポイント】P4参照

(2) 薩摩川内スマイルアクション50 ～『笑顔』あふれる 『集いと循環』のまちづくり～

- ア 親子スマイルバスツアー事業【新規】** 172万円（予算概要：P103）
これからの循環経済・産業を生み出す5つの現場である「川内港」「サーキュラーパーク九州」「川内港久見崎みらいゾーン」などへの親子バスツアーを実施します
- イ 子どもの日フェスタ事業【拡充】** 223万円（予算概要：P142）
少年自然の家で毎年5月5日に開催している「子どもの日フェスタ」において、未就学児や小学生などが喜ぶエア遊具やミニトレインを設置するなど、一部内容を拡充して実施します
- ウ 向田公園遊具施設整備事業【新規】** 4,000万円（予算概要：P122）
向田公園に子どもたちが安心して遊ぶことができる遊具を整備します
- エ こどもの木育推進事業【新規】** 177万円（予算概要：P90）
子どもたちの木育を推進するため、市内全ての小学校に対して、地域産材を使用した木製ベンチの配布や、森林の持つ役割や木材の特性などについての学習支援を行います
- オ 薩摩川内音楽祭事業【継続】** 1,500万円（予算概要：P108）
若手アーティストと市民が一体となった市民参加型の音楽イベントを実施します
- カ 涼みスポット設置促進事業【拡充】** 61万円
これまで地区コミュニティセンターを対象に34施設に設置している涼みスポットを、民間施設などにも拡大します
- キ ダイバーシティ社会形成推進事業【新規】** 550万円（予算概要：P29）
多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現できるように、講演会やSNSなどを活用した広報啓発を行います

(3) コミュニティ・市民活動

ア ふるさと納税を活用したコミュニティ協議会支援事業【新規】

186万円（予算概要：P28）

ふるさと納税していただいた一部を活用してコミュニティ協議会の活動を支援します

イ 自治公民館設置事業補助金（避難所空調設備補助）【拡充】

400万円（予算概要：P27）

指定避難所で空調設備のない施設に対して設置費用の一部を助成します

ウ 自治会加入促進ポイント付与事業【拡充】 100万円

転入者が自治会に新規加入した際に配布するSDGsポイントを増額助成します

エ 市民活動支援補助金（ｽﾏﾙ連携ｺｰｽ・ｽﾏﾙ育成ｺｰｽ新設）【拡充】

90万円（予算概要：P29）

市民活動ネットワークに登録する複数の団体が連携して事業を実施する際に必要な経費の一部を助成します

オ コミュニティセンター建設事業【継続】

1億2,000万円（予算概要：P26）

長浜地区コミュニティセンター建設のための造成工事を実施します

(4) 産業人材確保・移住定住

ア 若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金）【継続】

1,600万円

市内の高校新卒者または市内在住の市外高校新卒者（市内中学校卒業生）などが、市内居住かつ市内の事業所に就職後6か月以上経過した場合、10万円のSDGsポイントをつんPayで支給します

イ 奨学金返還支援補助金【継続】 1,800万円（予算概要：P25）

大学や短期大学、専門学校等を卒業した方が市内居住かつ市内の事業所に就職した場合に、在学期間に貸与を受けた奨学金等の返還を補助します

ウ 保育士就職支援事業【拡充】 600万円（予算概要：P58）

保育士、保育教諭の資格を有し、保育所などに新たに就職した方へ、制度を拡充して就職支援金を交付します

エ 就農者育成拠点施設研修事業【新規】 644万円（予算概要：P79）

農業振興のために就農者育成を行う農業公社に研修事業を業務委託します

(5) SDG s ・カーボンニュートラル

ア サーキュラー都市ブランディングプロジェクト【新規】

3,500万円（予算概要：P23）

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、サーキュラーエコノミーに関する体験型・体感型の市民向けイベントや、資源循環のためのネットワーク構築活動などを実施します

イ SDGsポイント活用事業【拡充】 1,767万円（予算概要：P34）

SDGs理念の浸透及び地域内経済循環の創出を実現するため、デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用して、SDG s 理念の実現に貢献する様々な取組に参加された方に対して、市内飲食店等で利用可能な「SDGsポイント」の対象事業を拡充して付与します

ウ カーボンニュートラルセミナー事業【新規】 139万円（予算概要：P39）

「薩摩川内市カーボンニュートラル地域戦略」において、目標として掲げている温室効果ガス総排出量の削減に向けて、排出量の把握に必要なスキルを習得するためにSDGsチャレンジパートナー事業所向けのセミナーを実施します

エ プラスチック資源循環促進法関連事業【新規】

1,596万円（予算概要：P39）

ごみ焼却量の削減及びリサイクル率の向上を目指し、更なる資源循環を図るため、プラスチック使用製品（18品目）の分別回収を実施します

(6) DX（デジタル・トランスフォーメーション）

ア デジタル郵便システム導入事業【新規】 484万円（予算概要：P32）

マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用して、登録した市民が郵送の代わりにスマホ上の専用アプリで市からの通知を受け取ることができるシステムを導入します

イ 「(仮称)デジタル広報薩摩川内」ウェブサイト作成事業【新規】

742万円（予算概要：P21）

「広報薩摩川内」の記事を、Web上で閲覧することができるウェブサイト「(仮称)デジタル広報薩摩川内」を構築します

ウ 教育・保育給付等管理システム導入事業【新規】

440万円（予算概要：P57）

教育・保育施設が市とやり取りを行う給付費などの手続きの効率化を図ります

エ 消防団活動支援アプリ導入事業【新規】

396万円（予算概要：P129）

消防団活動の効率化を図るため、出場指令や出場報告書の作成、スケジュール管理がスムーズに行えるアプリを導入します

(7) 電源立地地域対策交付金等事業

ア 電源立地地域対策交付金

川内原子力発電所 1、2号機の運転期間延長に伴い、稼働後40年を超えることとなり、電源立地地域対策交付金の交付額が**それぞれ毎年1億円（20年間）加算**されます。

■ 1号機運転延長加算分《1億円/年》 20年間（R6～R25）

事業名	事業費	交付金活用額
学校給食費補助事業	1億2,742万円	1億円

■ 2号機運転延長加算分《1億円/年【新規】》 20年間（R7～R26）

事業名	事業費	交付金活用額
公園遊具整備事業	4,000万円	3,000万円
川内港背後地北側道路整備事業	1億500万円	7,000万円

イ 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金【新規】

川内原子力発電所の運転延長に伴い、県が策定する地域振興計画に基づき、国から県に対して交付される25億円のうち、**12億4,100万円**が令和7年度から交付期間内において県から本市に交付されます。（令和7年度交付予定額：3億8,700万円）

県からの交付金については、新たに設置する「未来のまち創生整備基金」に毎年度積み立て、翌年度以降の事業に活用します。

(8) 使用済核燃料税活用事業

● 使用済核燃料税の活用

使用済核燃料税は、発電用原子炉から取り出した使用済核燃料を、使用済核燃料貯蔵施設または再処理施設に搬出されるまでの間、貯蔵されているものの一部について課税する**本市の独自財源で、子育て支援や市民活動、防災・減災事業など広く市民サービスに活用しています。**

■ 令和7年度の増収分《約2,000万円》を活用する主な事業

事業名	R7予算
【新規】赤ちゃんの駅設置促進補助金	400万円
《拡充》こどもの日フェスタ	223万円
《拡充》カンガルー・思春期教育事業	83万円
《拡充》涼みスポット事業	61万円
《拡充》河川愛護謝金増額分	100万円
《拡充》道路愛護謝金増額分	100万円
【新規】市民活動支援補助金（スマイル連携・育成コース）	90万円
《拡充》空家バンク奨励金増額分	60万円
【新規】避難所空調設置補助	400万円
【新規】消防団活動支援アプリ導入	396万円
【新規】未来共生災害救援マップ導入	22万円

■ 令和6年度の増収分を引き続き活用する事業

事業名
自治会・地区コミ防犯灯電気代補助
テレビ難視聴自主共聴組合運営補助
リサイクル推進員活動費、一般廃棄物集積場整備補助
公設ごみステーションごみ分別指導等事業
生ごみ処理機器購入補助
ふれあい・いきいきサロン活動支援
消防団員報酬の増額

10 少子化対策・子育て支援戦略実行方針（案）

◇目的

出会い・結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージにおける切れ目のない支援を展開し、子育て世代の負担の軽減、時代に即した子育てしやすい環境整備に具体に取り組むため、施策展開ごとの事業を見える化し、進捗管理を行うことで、事業の検証と刷新を行うもの。

◇方針の位置付け

- ・第3次薩摩川内市総合計画基本構想
 - ・第3次薩摩川内市総合計画前期基本計画
 - ・薩摩川内市少子化対策・子育て支援基本条例
 - ・薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略実行計画
 - ・薩摩川内スマイルアクション50
- との連動性を保ち施策を総合的に推進する。

◇期間

令和7年度から11年度までの5年間

◇目指すべき将来像

「結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現」「次代を担う子どもたちが健やかに育まれる社会の実現」

◇施策展開

- ・地域の実情に応じた少子化対策
- ・働き方改革
- ・結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり
- ・ライフステージ別対策
- ・多様な子育て環境への支援

◇少子化対策・子育て支援の加速化

- ・施策の中で、新規・拡充するなど特に推進・強化する事業

◇施策マネジメント

- ・効率的な組織設置の検討
- ・ふるさと納税、電源立地地域対策交付金、使用済核燃料税、森林環境譲与税等の財源を最大限有効活用した施策の展開

1 1 産業人材確保・移住定住戦略実行計画(令和7年改定)(案)

- より戦略的に産業人材確保・移住定住施策を進めるため、計画の内容を見直し
- 事業者、就職者、転入者のサポートを継続し、本市の生活や事業所の魅力を広くPRするプロモーション事業を充実

◇施策方針

「本市の強みを生かした産業人材の確保・移住定住の促進」とする。なお、本市の「強み」を大都会にない自然やゆとりある生活、事業者の魅力などとする。

◇実行計画の位置付け

第2次総合計画後期基本計画及び第3次総合計画前期基本計画(案)の下部計画に位置付け、産業人材確保、移住定住、空家施策を総合的に推進する。

◇計画期間

令和6年度から11年度までの6年間

◇KPI

1 地元就職率 35%

令和4年春	令和5年春	令和6年春
27.6%	31.7%	28.3%

2 年間社会増減数 ±0(5カ年平均)

	令和4年	令和5年	令和6年
5カ年平均	▲223人	▲154人	▲95人
単年度	▲232人	107人	▲83人

◇主要施策

施策	具体的な取組
1 地元事業者の成長を担う産業人材の確保	(1) 就職者サポート事業 (2) 事業者サポート事業 (3) 薩摩川内で働く機運の醸成
2 選ばれるまちになるための挑戦	(1) 移住定住者サポート事業 (2) ぽっちゃんプロジェクト事業
3 空家を活かした暮らしづくり	(1) 空家利活用事業 (2) 市有財産活用事業
4 官民連携・マネジメント	(1) 総合相談 (2) 学校・団体連携事業 (3) マネジメント事業 (4) プロモーション事業

1 2 藺牟田池環境保全グリーンインフラアクションプラン(案)



◇目的

平成17年11月にラムサール条約湿地として登録後、国の天然記念物である泥炭形成植物群落の面積が減少するなど、自然環境や生態系が大きく変化した。

本プランにより、環境保全活動に必要な人材や、必要な資金を確保し、持続的な環境保全活動により、ラムサール条約登録時点の環境に再生することを目的とする。

◇計画の根拠

- ・ 藺牟田池環境保全基本計画

◇計画期間

令和7年度から11年度までの5年間

◇期待される効果

- ・ 泥炭形成植物群落の再生
- ・ 在来種の保全
- ・ 外来魚の減少
- ・ 環境保全活動人材の育成
- ・ 環境保全活動に関する資金の確保
- ・ 藺牟田池県立自然公園利用者の増加
- ・ 生態系保存資料館アクアイムの入館者の増加

など

◇主要施策

保全・再生
・ 生態系保全再生事業 ・ 外来種駆除事業 ・ ビオトープ拡張事業 ・ アクアイム拠点化事業 ※ リニューアルを行い、ビジターセンター機能を充実させ、藺牟田池全体を資料館として整備し、環境保全活動の拠点として活用。
ワイズユース
・ 新たな名所づくり事業 ・ アクティビティ活用事業 ・ ガイド・インストラクター育成事業 ・ 情報発信事業 ・ 食事を提供する場所、買物をする場所の確保 ・ 交通・アクセス改善事業

1 3 スマートデジタル計画（案）

◇目的

第3次薩摩川内市総合計画に沿って展開する各種政策・施策等を効果的に実現するため、DX推進を図り、各政策分野においてデジタルの力を活用した事業展開を定めるもの

◇計画の位置付け

- ・デジタル田園都市国家構想
- ・自治体DX推進計画
- ・デジタル社会の実現に向けた重点計画

◇計画期間

令和7年度から11年度までの5年間

◇期待される効果

- ・デジタル技術を活用した様々なサービスの利便性の向上や高度化の促進
 - ➡**地域課題の解決、新たな価値の創出**
- ・スマートシティ構想の実現に向けたデジタル技術や官民データの有効活用
 - ➡**都市、防災、福祉、教育、産業、建設などの多様な分野における利便性向上と効率化**
- ・行政手続きのオンライン化や窓口DX、ペーパーレス化、AI等による市役所内部のDX推進
 - ➡**行政サービスの標準化、効率化や住民の利便性を向上させる「スマート自治体」の実現**

◇計画概要(方針編・アクションプラン編の二部構成)

方針編

- ・スマートシティ構想、スマート自治体構想、薩摩川内DX行動指針などのDXに取り組む上での基本的な方針を定めるもの

まちのDX

- ・第3次総合計画前期基本計画の政策分類ごとに取り組む、デジタルを活用した課題解決の方向性を定めるもの

行政DX

- ・行政手続きのオンライン化や窓口DX等の市役所におけるDXの方針を定めるもの

アクションプラン編

- ・方針編で定めたDX方針に基づき、具体的に実施するプロジェクトについて、その概要、実施計画などを定めるもの

◇令和7年度実施予定事業

- ・デジタル郵便通知サービス導入事業
- ・教育・保育給付等管理システム導入事業
- ・地域の見守りネットワーク構築事業
- ・中小企業DX支援事業、ほか

1 4 薩摩川内スマイルアクション50（案）

～『笑顔』あふれる『集いと循環』のまちづくり～



◇目的

- ・人口減少・少子高齢化が急速に進む中であっても、次の世代のために本市の将来の可能性を最大限に引き出すことを目指し、「**楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）**」と、「**人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）**」を実現するため、その取組の方向性を明らかにし、特に力点を置く事業を示すもの
- ・第3次総合計画前期基本計画の推進を補完するもの

◇期間 令和7年度から10年度までの4年間(総合計画実施計画等と連動し、見直し)

◇構成 ◎分野別事業

(1) 社会スマイル事業【はぐくむ】

➡ 15事業（新規：4事業）

- 少子化対策・子育て支援…… 7事業
- 安全・安心 …………… 3事業
- 地域デザイン…………… 3事業
- ダイバーシティ・社会教育… 2事業

(2) 環境スマイル事業【まもる】

➡ 9事業（新規：5事業）

- 自然環境保全…………… 4事業
- サーキュラー都市環境…… 1事業
- 次世代エネルギー………… 1事業
- 国土強靱化…………… 3事業

(3) 経済スマイル事業【つくる・めぐる】

➡ 19事業（新規：7事業）

- サーキュラー都市経済…… 2事業
- 産業人材確保・移住定住… 5事業
- シティセールス…………… 6事業
- 川内港臨海ゾーン開発等… 6事業

(4) 実現スマイル事業【つながる・まなぶ】

➡ 7事業（新規：3事業）

- スマートデジタル………… 3事業
- 財政健全…………… 1事業
- チーム薩摩川内…………… 3事業